



酒々井町
シティプロモーションガイド
2024

ご挨拶 3

酒々井ストーリー 4

四季を巡る

歴史の回廊

ひとの歩み

しすいで暮らす 10

イベントカレンダー

しすいの子育て 12

135周年特別企画

酒々井の歩み 14

歴史浪漫紀行 16

特産品探訪 18

ガイドマップ 19

ご挨拶

酒々井町は、明治22年の町制施行以来、都心から50km圏内に位置しながらも、豊かな自然・歴史・文化を併せ持つ優れた生活環境を背景に、東関東自動車道酒々井インターチェンジの開設、酒々井南部地区新産業団地の街びらき、千葉しすい病院の開院、「子育て支援センター あいあい」の開設などとともに、地方創生の取り組みを着実に進め、発展を遂げてまいりました。

近年は、デジタル化や地球温暖化など社会経済環境はめまぐるしく変化しておりますが、本町の豊かな自然と歴史・文化を次代へと継承し、そして、この「ふるさと酒々井」で暮らす人々が、明日への希望を抱き、満足度が高く幸福な暮らしができるまちを目指して取り組んでまいります。

このシティプロモーションガイドは、町制施行135周年を記念して酒々井町の素晴らしさを余すことなく伝える冊子として制作しました。自然の豊かさ、歴史的な資産、地域の活気あるイベントなど、多彩な魅力が詰まった酒々井町を知っていただく一助となれば幸いです。

令和6年3月

酒々井町長 小坂泰久



四季を巡る



本佐倉城跡から望む青々とした田園風景。大地が貯えた豊富な水は、この地に食の恵みをもたらす

本佐倉城跡から望む風景は時代とともに変わっていく。かつては香取の海・印旛浦が広がり、湊として栄えた。干拓とともに田園が整備され、今では鉄道も通った。しかし、この地の自然が織りなす情景は、今も人々の心を掴んで離さない。人々は花を愛で、秋の実りに感謝する。この光景は、古今の時を超えて永遠に息づくものかもしれない。



①酒々井総合公園では満開の桜が人々の心を躍らせる ②印旛沼周辺の水路にはさまざまな生き物が見られる ③豊穡の秋を迎え、大地の実りをいただく ④雪化粧した上郷の静かな情景

歴史の回廊

古くからこの地は交通の要衝だった。印旛沼の水運交通が栄え、戦国大名千葉氏は本佐倉を拠点とした。成田街道をはじめとした主要道路が集まり、江戸幕府は野馬会所を置いた。城下町、宿場町としての繁栄を、今も町並みが物語る。

①戦国時代、千葉氏が居城とした本佐倉城跡には土塁や空堀が今でも残る ②千葉氏の守護神として静かに佇む妙見様の鳥居 ③佐倉藩主戸田能登守忠真が建立した勝蔵院 ④醤油や茶を扱った商家・助吉五郎家の格子戸 ⑤幕府野馬御用を務めていた島田長右衛門家と分家・島田政五郎家 ⑥町名の由来となった「酒の井の碑」がある円福院神宮寺

宿場町として賑わった成田街道沿いの旧酒々井宿。
町並みには江戸の面影が残り、豪商の繁栄がうかがえる



ひとの歩み

伝統の祭礼や生業が、地域で脈々と受け継がれている。昔から今へ、そして未来へ。先人たちが歩んだ道を見つめながら、新しい歴史を切り拓かねばならない。このまちでも若い芽は育っている。新しい息吹だ。



五穀豊穡を願って奉納演舞される馬橋の獅子舞。夕方、弓・獅子・下座連の行列が香取神社に練り込む

①伝統の力強い獅子舞は脈々と受け継がれる ②飯沼本家は歴史を有する千葉県内有数の蔵元 ③土を掘り起こしてサツマイモの収穫体験 ④一度絶えた戦国時代の祭礼は、「酒々井・千葉氏まつり」として現代に復活 ⑤役場駐車場で行われる朝市には新鮮な農産物が並ぶ ⑥健康に暮らし続けるために



shop



おいしいグルメ



子どもたちが
遊べる公園

酒々井プレミアム・アウトレット

2013年にオープンした酒々井プレミアム・アウトレット。国内外で人気のブランド約220店舗が立ち並び、ファッションや雑貨などのショッピングが楽しめます。フードコートや子どもたちが遊べる遊具もあり、家族で楽しめる商業施設です。



ファッションや雑貨のお店がたくさん



useful

コンパクトで便利

面積が千葉県内で2番目に小さく、コンパクトな酒々井町。人口の約6割が駅を徒歩で利用できるエリアに居住しています。鉄道はJR成田線・JR総武本線・京成本線の3路線で、4つの駅が置かれています。



JR酒々井駅。駅周辺にはスーパーや金融機関などが集約

歩いて暮らせるまちです



しすいで暮らす

酒々井は
とっても
暮らしやすい
町だよ！



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

歴史ある町並みと自然

成田街道沿いには旧酒々井宿の町並みが残り、当時の繁栄を今に伝えています。また、本佐倉城跡近辺の里山は人々によって大切に守られており、夏には蛭の姿も見られます。

history



美しい田園風景



旧酒々井宿の町並み

ホタルもいるよ



health



千葉しすい病院

みんなで健康に



いつまでも健康に

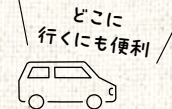
在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、千葉しすい病院をはじめとする医療機関や介護事業所が職種を越えて連携し、地域ぐるみのネットワークづくりを行っています。

また、町では健康教室を開催するなどし、長く健康でいられるための施策を展開しています。

access



成田市に隣接。空港も近くて便利



アクセスが良い

鉄道や高速道路が通り、都内へは約50分、成田空港へは約20分で結ばれます。また、国道51号線と国道296号線がまちの中心部で交差しており、近隣地域の交通の要衝となっています。



東関東自動車道酒々井インターチェンジ

11月

酒々井新酒祭

蔵元「飯沼本家」の敷地で開催される「酒々井新酒祭」のために造られた限定酒の販売のほか、日本の飲み比べや甘酒の振る舞い、フード出店など、盛りだくさんの内容が楽しめます。



7月・12月

しすいリッチハートコンサート

豊かな心を育み、いきがいを感ぜられるまちづくりを目指して、プリミエール酒々井でプロの音楽家による演奏が行われます。※開催月は異なる場合があります。



酒々井町ふるさとまつり

町内で生産された新鮮な野菜や農産物加工品などの即売や、チャリティーバザーなどが行われます。会場は中央公民館と中央台公園です。

7月

墨の獅子舞

毎年7月第3土曜日に六所神社と区長宅で、五穀豊穡と雨乞いを祈願して行われる獅子舞です。享保19年（1734年）から始まったと伝えられており、県の無形民俗文化財に指定されています。

5月

しすい・ハーブガーデンまつり

ハーブの見頃を迎える5月中旬に開催。ハーブの苗・寄せ植鉢などの販売や模擬店、イベントなどが行われます。

4月

上岩橋の獅子舞

毎年4月第1日曜日に、五穀豊穡を祈願して行われる獅子舞です。江戸時代中期頃から伝わっており、町無形民俗文化財に指定されています。

イベントカレンダー



給食おいしいね！

地域を学ぶ
「酒々井学」



自然の中で
収穫体験



総合公園は広くて
遊具もたくさんあるよ！



しすいの子育て

酒々井町では、未来を担う子どもたちが地域の中でのびのびと育つよう、地域子育て支援拠点を中心に妊娠から子育て期までを切れ目なくサポートしています。教育分野では「酒々井学」という独自の教育プログラムを実践しており、地域学習を通じて酒々井ならではの特別な学びや体験をすることができます。



楽しい
季節のイベント



地域子育て支援拠点

町には「子育て支援センター あいあい」と「しょうえんこどもそだてルーム」の2カ所の地域子育て支援拠点があります。子育て支援センター あいあいには、育児や就園に関する情報をお届けする子育てコンシェルジュが配置されているほか、子どもの送迎や預かりを依頼できるファミリー・サポート・センターを設置しています。



酒々井学

平成29年から小学校と中学校で実践されている町独自の学習プログラムです。地域素材を使い、教科等の学習内容と関連づけて実践する地域学習・活動で、町の歴史・文化・自然等について知ることによって郷土への愛着と誇りを持ち、ふるさと意識を育むことをねらいとしています。また、自分たちの町や社会をよりよくしようとする主権者意識も育んでいます。



保育と教育

保育園・認定こども園は町立中央保育園・町立岩橋保育園・私立昭苑こども園があり、幼稚園は私立酒々井幼稚園があります。小学校は酒々井小学校・大室台小学校の2校があり、学童保育は4カ所あります。中学校は酒々井中学校の1校です。



経済的なサポート

子ども医療費の助成や、妊婦などへのタクシー利用券の交付などを行っています。3～5歳児と住民税非課税世帯の0～2歳児の子どもは、保育料が無償となります。また、第3子以降の児童生徒は、給食費が免除されます。

酒々井の歩み

明治22年、16の町村が合併して酒々井町が誕生しました。以来、一度も合併することなく、「日本で一番古い町」としての歩みを続けています。交通の要衝であるという地域特性は今も変わらず、鉄道や東関東自動車道などの交通インフラの整備とともに、まちは発展し続けています。

撮影 川島俊彦氏



すいか割りをする子どもたち



勝蔵院脇にあった酒々井高等学校(明治40年)

明治22年	酒々井町誕生(最初の役場は下宿の麻賀多神社前)
明治30年	成田鉄道佐倉〜成田間開通、酒々井駅開設 総武鉄道佐倉〜銚子間開通
明治41年	酒々井尋常高等小学校開校
大正3年	南酒々井駅開設
大正5年	町に電灯がつく
大正15年	京成電鉄成田線開通、京成酒々井駅・宗吾参道駅開設
昭和4年	町に電話が開通
昭和22年	酒々井中学校開校
昭和26年	町国保診療所開設
昭和32年	有線放送開始
昭和40年	町章制定
昭和43年	町営水道が通水開始
昭和46年	町立中央保育園開園
昭和47年	現役場庁舎「中央台4丁目」に完成
昭和49年	東関東自動車道開通 町公共下水道供用開始
昭和53年	東酒々井団地入居開始
昭和54年	酒々井ちびっこ天国開園 ※平成29年7月から休園 中央台団地入居開始
昭和58年	酒々井中学校「尾上」に新築移転
昭和59年	私立東京学館高等学校開校
昭和62年	町民歌・しすい音頭発表
昭和63年	国道296号バイパス開通



中川の渡船(昭和40年頃)



旧京成酒々井駅



酒々井小学校運動会のアーチ作り
(大正10年頃)



ちびっこ天国開園(昭和49年)
※平成29年7月から休園



ボンネット型の路線バス



役場屋上から見た、造成中の中央台団地(昭和50年頃)



工事中の国道51号バイパス(昭和55年)



総合公園野球場完成(昭和63年)



新たな街区ふじき野が誕生(平成13年)



「プリミエール酒々井」オープン(平成15年)



子育て支援センター あいあいの開所式(平成30年)

昭和55年	中央公民館完成
昭和57年	総合公園テニスコート完成
昭和58年	大室台小学校開校
昭和59年	国道51号バイパス開通
昭和62年	町立岩橋保育園開園
昭和63年	学校給食センター完成
昭和64年	保健センター完成
昭和65年	酒々井リサイクル文化センター完成
昭和66年	生涯生活センター完成
昭和67年	酒々井コミュニティプラザ完成
昭和68年	総合公園野球場完成
昭和69年	しすい・ハーブガーデン開園
昭和70年	尾上浄水場完成
昭和71年	防災行政無線が稼働
昭和72年	本佐倉城跡が国指定史跡に指定
昭和73年	東酒々井第一土地区画整理組合造成地(ふじき野)入居開始
昭和74年	字の変更により「ふじき野」が誕生
昭和75年	ケーブルテレビ放送開始
昭和76年	プリミエール酒々井開設
昭和77年	佐倉市との合併の是非を問う住民投票実施・自立の道を選択
昭和78年	駅前交流センター開設
昭和79年	町マスコットキャラクターが「井戸っこ(しすいちゃん)」に決定
昭和80年	酒々井インナーチェンジ開通
昭和81年	酒々井プレミアム・アウトレットオープン
昭和82年	酒々井町子育て支援センター あいあい開設
昭和83年	まるごとしすい開設
昭和84年	墨古沢遺跡が国指定史跡に指定
昭和85年	国史跡本佐倉城跡案内所開設
昭和86年	げんき館開設
昭和87年	筋吉五郎家が国登録有形文化財に登録
昭和88年	町制施行135周年



国史跡本佐倉城跡案内所の開所式(令和3年)



歴史浪漫紀行

古くから交通の要衝だったこの地は、戦国時代には千葉氏の拠点が置かれ、江戸時代には城下町や宿場町として栄えました。さらに、墨古沢遺跡により少なくとも3万4000年前には人々の暮らしがあったことがわかっていきます。地域の歩みを物語る歴史遺産の一部を紹介します。



本佐倉城跡 国指定史跡

戦国時代の文明年間(1469～1487)に千葉輔胤によって築城されました。豊臣秀吉に滅ぼされるまでの100年余りの間、9代にわたり千葉宗家の本拠地として栄えていました。城の規模は東西約700m、南北約800mで、面積は約35ha。現在でも郭や馬場、虎口、空堀、土塁、櫓台などが良好に保存されています。



墨古沢遺跡 国指定史跡

3万4000年前の旧石器時代に属する遺跡。「石器ブロック」と呼ばれる石器の分布が集中する場所が、ドーナツ状に配置された「環状ブロック群」と呼ばれる遺跡で、日本最大級の規模を誇ります。



墨の獅子舞

県指定無形民俗文化財

享保19年(1734)、六所神社の遷宮式のために羽根国羽黒山から師を招いて伝授を受けたのが始まり。演目は、「足揃え」「芝獅子」「剣の舞」「猿獅子」が伝承されています。



馬橋の獅子舞

町指定無形民俗文化財

江戸時代から伝承されており、「芝獅子」「へいそく獅子」「猿獅子」「剣の舞」の4演目が香取神社で奉納演舞されています。

上岩橋の獅子舞

町指定無形民俗文化財

江戸時代中期頃から伝わり、「とおし」「れいとろ」「白羽」「弓くぐり」「一匹舞」の演目が、区長宅・駒形神社・菊賀神社・大鷲神社の順で奉納演舞されます。



銅造阿弥陀如来・両脇侍立像 清光寺

県指定文化財

阿弥陀如来には、正安二年(1300)の造立年次などが刻まれています。鎌倉時代末における善光寺式如来の普及のさまを知り得る貴重な一遺例です。



木造阿弥陀如来坐像 長福寺

県指定文化財

平安時代後期の定朝様式の作風を伝える木像です。頬の強く張った丸顔や奥行の深い体部などに、新しい時代の傾向もみられ、12世紀の制作と推定されています。



銅雲版 浄泉寺

県指定文化財

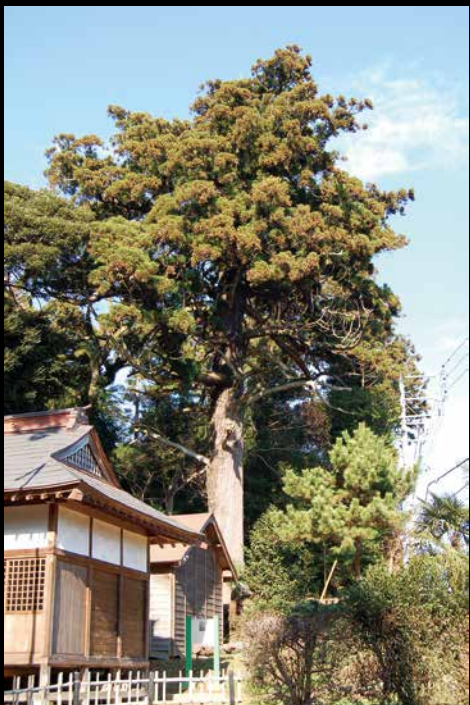
寺院などで食事や法要の合図に鳴らす道具。応永22年(1415)に鑄造され下野国(栃木県)に所在したもので、周恩和尚が持参したとされています。



飯積の大杉

町指定天然記念物

酒々井町では最大の杉。伊豆神社の境内にある大杉は目通り径4.3m、地元の伝承では樹齢700年の巨木です。



勘吉五郎家 国登録有形文化財

醤油や茶を扱った商家・勘吉五郎家の住宅店舗兼主屋。明治時代中期以前に、宿場町として賑わっていた成田街道沿いに建築されました。



島田長右衛門家 島田政五郎家

町登録有形文化財

島田長右衛門家(呉服・太物・足袋の小売問屋)と分家・島田政五郎家(灯油の製造)の店舗兼住宅は、明治前期に建築されました。島田家は江戸時代に幕府野馬御用を務めた牧士の家です。



飯沼本家 国登録有形文化財

歴史を有する県内有数の蔵元・飯沼本家の当主が住み継いでいた主屋は、江戸中期に建築されました。離れ家や蔵なども文化財として登録されています。

酒の井の碑

ある孝行息子が見つけた井戸から酒が湧いたことが「酒々井」という地名の由来といわれています。「酒の井」を記念した酒の井の碑が、円福院神宮寺の境内にあります。



ガイドマップ



日本酒

歴史を有する県内有数の蔵元・飯沼本家では、敷地内の井戸から汲み上げた地下水を使って酒造りをしています。



酒々井の水

およそ100年前に降った雨が長い年月を経て浸透したといわれる、酒々井の清らかなおいしい水です。



梨

糖度11～13%の甘さが評判。酒々井の水をたっぷり使っており、果汁が多くシャキシャキとしています。8～9月が旬です。



自然薯

栽培農家が長年の研究と工夫で栽培に成功。酒々井の赤土で育った自然薯は粘りが強く、香り高いのが特徴です。



Made in
SHISUI

特産品探訪

落花生

千葉県の特産品でもある落花生。独自の製法で加工された品々は、お土産用として人気です。



和菓子

まちの歴史や風土をテーマとした手作り和菓子は、多くの人に愛されています。



ハーブ

しすい・ハーブガーデンでは150種類以上のハーブが楽しめるほか、さまざまな関連商品が販売されています。

しすいーと・しすいーツ

町では、「しすいーと」「しすいーツ」のネーミングを使用した新しい特産品を開発しています。町内の店同士のコラボにより、新しい名物も生まれています。



ベーカリーと飲食店がコラボした、野菜を3倍おいしくするコラボパン



通常は廃棄するピーナッツの薄皮を練りこんだパン



町の2大マスコットキャラクター「井戸こ(しすいちゃん)」と「勝っタネ!くん」をプリント

酒々井町
シティプロモーションガイド2024

発 行 千葉県酒々井町企画財政課
〒285-8510千葉県印旛郡酒々井町中央台4丁目11番地
TEL 043-496-1171 (代表)
<https://www.town.shisui.chiba.jp/>

発行日 令和6年3月



酒々井町
トータルエンブレム



町の木「梅」



町の花「水仙」



町の鳥「めじろ」